



東京税関管内貿易概況（令和7年分）速報

令和7年分の管内貿易概況（速報）について、輸出は、対前年比が9.3%増となり、年としては過去最大となった。輸入も、同6.0%増となり、年としては過去最大となった。

その結果、差引額は、11兆8,968億円の輸入超過となった（25年連続）。

東京港
輸出は2年ぶりに減少、輸入は過去最大
輸入超過は25年連続
輸出は、半導体等製造装置、自動車の部分品及び電算機類の部分品等が減少
輸入は、通信機、電算機類及びはき物等が増加

成田空港
輸出入ともに過去最大
輸入超過は15年連続
輸出は、医薬品、電気計測機器及び写真用・映画用材料等が増加
輸入は、医薬品、電算機類及び通信機等が増加

羽田空港
輸出は5年ぶりに減少、輸入は3年ぶりに減少
輸入超過は16年連続
輸出は、医薬品、科学光学機器及びIC等が減少
輸入は、航空機類、バッグ類及び科学光学機器等が減少

（単位：億円）

	輸出額			輸入額			差引額
	価額	伸率	全国比	価額	伸率	全国比	価額
管内	289,023	9.3%	26.2%	407,992	6.0%	36.1%	▲118,968
東京港	81,330	▲0.4%	7.4%	172,406	4.7%	15.2%	▲91,075
成田空港	200,974	14.8%	18.2%	211,840	9.2%	18.7%	▲10,866
羽田空港	4,510	▲17.5%	0.4%	13,151	▲8.0%	1.2%	▲8,642
全国	1,104,480	3.1%	100.0%	1,130,987	0.3%	100.0%	▲26,507

為替レート：税関長公示レートの平均値
令和7年分

米ドル換算

149.69円/米ドル

令和6年：150.97円/米ドルと比べ0.8%の円高

- 注1. 本発表における港別の貿易額は、東京税関管内の次の官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額によるものである。
東京港（東京税関本関、東京外郵出張所、立川出張所、前橋出張所、大井出張所）、
成田空港（東京航空貨物出張所、成田航空貨物出張所）、
羽田空港（羽田税関支署）、
管内には、東京港、成田空港、羽田空港に加えて、新潟港（新潟税関支署、東港出張所）、直江津港（直江津出張所）、
柏崎港（柏崎出張所）、新潟空港（新潟空港出張所）、酒田港（酒田税関支署、山形出張所）を含む。
- 注2. 「伸率」は対前年伸率を示す。
- 注3. 「過去最大」は昭和54（1979）年以降による。

- 本資料を他に転載するときは、東京税関の資料による旨を注記して下さい。
- 本資料の問い合わせは、東京税関調査部調査統計課まで。（TEL 050-5533-6995）
- 東京税関ホームページ <https://www.customs.go.jp/tokyo/>

●東京税関管内 令和7年速報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	半導体等製造装置	17,969	-7.4	6.2
主 要 品 目 2	科学光学機器	12,043	1.8	4.2
主 要 品 目 3	電気計測機器	8,203	7.4	2.8

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	非鉄金属	6,989	12.3	2.4	シンガポール
増 加 2 位	写真用・映画用材料	4,168	19.4	1.4	中国
増 加 3 位	医薬品	7,150	9.6	2.5	スイス
減 少 1 位	半導体等製造装置	17,969	-7.4	6.2	中国

【主要国・地域別】	輸 出 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	47,842	2年ぶりに減少	-1.3	自動車の部分品
対E U(注3)	26,246	5年連続の増加	2.2	映像記録・再生機器
対アジア	182,407	2年連続の増加	11.0	写真用・映画用材料
対中国(注4)	89,005	2年連続の増加	8.9	
対ASEAN(注5)	41,516	2年連続の増加	11.0	
				非鉄金属

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	通信機	37,397	14.7	9.2
主 要 品 目 2	医薬品	35,915	10.5	8.8
主 要 品 目 3	電算機類	32,013	17.2	7.8

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	通信機	37,397	14.7	9.2	中国
増 加 2 位	電算機類	32,013	17.2	7.8	中国
増 加 3 位	医薬品	35,915	10.5	8.8	アイルランド
減 少 1 位	航空機類	4,355	-24.3	1.1	米国

【主要国・地域別】	輸 入 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	58,545	2年ぶりに減少	-1.6	航空機類	-10,704
対E U(注3)	68,201	5年連続の増加	4.8	医薬品	-41,956
対アジア	226,495	2年連続の増加	7.6	通信機	-44,088
対中国(注4)	122,011	2年連続の増加	6.8		-33,006
対ASEAN(注5)	60,932	2年連続の増加	6.6		-19,416
				半導体等製造装置	

●東京港 令和7年速報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	プラスチック	3,725	3.3	4.6
主 要 品 目 2	自動車の部分品	3,517	-18.4	4.3
主 要 品 目 3	電算機類の部分品	3,440	-10.0	4.2

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
減 少 1 位	半導体等製造装置	1,798	-40.6	2.2	中国
減 少 2 位	自動車の部分品	3,517	-18.4	4.3	米国
減 少 3 位	電算機類の部分品	3,440	-10.0	4.2	中国
増 加 1 位	非鉄金属	1,607	25.9	2.0	カナダ

【主要国・地域別】	輸 出 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	20,323	5年ぶりに減少	-9.6	自動車の部分品
対E U(注3)	9,461	5年連続の増加	0.6	個別半導体
対アジア	41,699	2年連続の増加	1.4	半導体等製造装置
対中国(注4)	18,120	2年ぶりに減少	-1.3	
対ASEAN(注5)	13,029	2年連続の増加	3.0	
				自動車

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	電算機類	12,655	25.3	7.3
主 要 品 目 2	衣類・同附属品	12,412	2.9	7.2
主 要 品 目 3	通信機	7,014	73.4	4.1

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	通信機	7,014	73.4	4.1	中国
増 加 2 位	電算機類	12,655	25.3	7.3	中国
増 加 3 位	はき物	4,647	16.6	2.7	ベトナム
減 少 1 位	肉類・同調製品	6,653	-4.6	3.9	米国

【主要国・地域別】	輸 入 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	15,359	5年ぶりに減少	-6.2	肉類・同調製品	4,965
対E U(注3)	19,402	5年連続の増加	1.7	原動機	-9,941
対アジア	122,497	2年連続の増加	7.2	通信機	-80,798
対中国(注4)	72,381	5年連続の増加	8.3		-54,261
対ASEAN(注5)	32,373	5年連続の増加	5.8		-19,344
				はき物	

●成田空港 令和7年速報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	半導体等製造装置	16,119	-1.3	8.0
主 要 品 目 2	科学光学機器	9,868	6.3	4.9
主 要 品 目 3	IC	7,140	-4.5	3.6

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	医薬品	6,030	30.9	3.0	スイス
増 加 2 位	電気計測機器	5,888	14.7	2.9	台湾
増 加 3 位	写真用・映画用材料	3,882	21.4	1.9	中国
減 少 1 位	有機化合物	1,672	-21.9	0.8	ドイツ

【主要国・地域別】	輸 出 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	26,225	2年連続の増加	6.8	医薬品
対E U(注3)	16,221	2年連続の増加	4.0	映像記録・再生機器
対アジア	136,211	2年連続の増加	15.1	科学光学機器
対中国(注4)	68,868	6年連続の増加	12.8	
対ASEAN(注5)	27,061	2年連続の増加	16.0	
				非鉄金属

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	医薬品	31,163	8.6	14.7
主 要 品 目 2	通信機	29,792	6.5	14.1
主 要 品 目 3	IC	19,181	1.6	9.1

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	医薬品	31,163	8.6	14.7	アイルランド
増 加 2 位	電算機類	18,715	12.9	8.8	メキシコ
増 加 3 位	通信機	29,792	6.5	14.1	中国
減 少 1 位	バッグ類	2,589	-9.6	1.2	イタリア

【主要国・地域別】	輸 入 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	39,607	2年連続の増加	2.3	半導体等製造装置	-13,382
対E U(注3)	42,313	3年ぶりに増加	9.7	医薬品	-26,091
対アジア	96,318	3年ぶりに増加	8.4	通信機	39,892
対中国(注4)	45,922	2年連続の増加	4.7		22,945
対ASEAN(注5)	25,518	2年連続の増加	8.2		1,543
				半導体等製造装置	

●羽田空港 令和7年速報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	再輸出品	3,241	0.8	71.9
主 要 品 目 2	医薬品	336	-69.4	7.4
主 要 品 目 3	科学光学機器	113	-61.8	2.5

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
減 少 1 位	医薬品	336	-69.4	7.4	スイス
減 少 2 位	科学光学機器	113	-61.8	2.5	中国
減 少 3 位	IC	71	-25.7	1.6	中国
増 加 1 位	再輸出品	3,241	0.8	71.9	米国

【主要国・地域別】	輸 出 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	1,103	7年ぶりに減少	-16.7	医薬品
対E U(注3)	467	2年ぶりに減少	-11.3	科学光学機器
対アジア	2,675	4年ぶりに減少	-10.2	再輸出品
対中国(注4)	1,578	5年ぶりに減少	-15.5	
対ASEAN(注5)	822	4年連続の増加	1.4	

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	航空機類	2,250	-42.5	17.1
主 要 品 目 2	医薬品	1,905	55.8	14.5
主 要 品 目 3	バッグ類	1,511	-22.3	11.5

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
減 少 1 位	航空機類	2,250	-42.5	17.1	米国
減 少 2 位	バッグ類	1,511	-22.3	11.5	フランス
減 少 3 位	科学光学機器	887	-15.6	6.7	タイ
増 加 1 位	医薬品	1,905	55.8	14.5	米国

【主要国・地域別】	輸 入 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	2,488	3年ぶりに減少	-19.2	航空機類	-1,386
対E U(注3)	6,372	3年ぶりに減少	-11.8	航空機類	-5,905
対アジア	2,230	4年連続の増加	1.3	衣類・同附属品	446
対中国(注4)	944	3年連続の増加	17.2		634
対ASEAN(注5)	1,077	4年ぶりに減少	-14.4		-255
				科学光学機器	

- (注) 1 輸出はFOB価格、輸入はCIF価格による。
2 伸率及び増加・減少は全て対前年比による。
3 対EUの貿易額は27カ国の実績。
4 対中国の貿易額には対香港及び対マカオの貿易額を含む。
5 対ASEANの貿易額は1月から10月は10カ国、11月から12月は11カ国の実績。
6 本発表における港別の貿易額は、東京税関管内の次の官署が管轄する区域に設置された貨物の通関額によるものである。
東京港(東京税関本関、東京外郵出張所、立川出張所、前橋出張所、大井出張所)、
成田空港(東京航空貨物出張所、成田航空貨物出張所)、
羽田空港(羽田税関支署)、
管内には、東京港、成田空港、羽田空港に加えて、新潟港(新潟税関支署、東港出張所)、直江津港(直江津出張所)、柏崎港(柏崎出張所)、新潟空港(新潟空港出張所)、酒田港(酒田税関支署、山形出張所)を含む。